

SLIM Japan

「荒廃する日本」を防ぐ

熟練技術者ら結集、調査研究

NPO(非営利組織)法人の社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会(Society of Lifecycle Infrastructure Management: 略称SLIM Japan、有岡正樹理事長)が、本格始動する。セネコンOBなどの熟練技術者や法律の専門家などが結集し、老朽化を迎える社会資本について、維持管理や更新などのマネジメント手法を調査・研究した上で提言などを行う。1970-80年代の米国では社会基盤が老朽化し、「荒廃するアメリカ」と評されたが、日本が同様の事態に陥るのを未然に防ぐ狙いだ。

＝1面参照

研究会内には、①技術②コンプライアンス(法令順守)③マネジメントシステム④コミュニケーション⑤国際協力の5つの委員会を設置

方、国土基盤に対するさまざまな社会的要請を踏まえ、コンプライアンス委員会では紛争・係争などに対する中立的な支援なども実施する予定だ。

マネジメントシステム委員会は、PFI手法なども視野に入れながら、持続可能な社会資本に向けたリスクマネジメントシステムを検討する。次世代への継承なども担うコミュニケーション委員会では、シニアエンジニアのデータベース化や講演会の開催、他のNPOとのネットワークづくりなどを進めるほか、大

学などからのインターンの受け入れも視野に入れる。国際協力委員会は、海外支援活動のほか、日本国内での海外資金や人材の導入・流動化に向けた支援活動などを展開する計画だ。

SLIM すぽと



社会資本維持管理で提言

NPO法人・社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会理事長

有岡 正樹氏

「とにかく、じっとしていられない」。一線を退いた土木技術者がNPO(非営利組織)を設立した。

「われわれがつくった構造物は、すでに30-40年が経過している。この先どのよう

に維持管理・更新すべきか提言したい」。シニアエンジニアの豊富な経験と知識を眠らせておくわけにはいかなないと立ち上がった。

「観念から社会資本のマネジメントを考える。あくまで行政、企業、市民の橋渡し役」で、建設コンサル

多岐にわたる人脈は、NPOのメンバーに名を連ねる。今回のシ

手も巻き込んでいきたい。次世代への継承も重要な社会的要求だ。

熊谷組時代は、豪州の大規模土木事業に携わったほか、日本版PFIの立役者の1人でもあった。熟練技術者や学者、弁護士に至るまで、当時から築いてきた

立記念シンポジウムのメー

5日に東京都内で開く設計タレントとの競合は考えていない。「ゆへゆへは現役、若

66歳。(泪)

＝関連2面

執行役員技術研究所長などを経て2009年退社。立